

愛知医療学院短期大学 出前授業

「パラリンピック教育」報道資料

〔実施高校〕愛知県立 新川高等学校



発行所 中日新聞社
名古屋市中区三の丸一丁目6番1号
〒460-8511 電話 052(201)8811

2015年(平成27年)
9月4日(金)

伊藤選手ら出前授業

新川高 障害者スポーツ理解

二〇一〇年の東京五学院短大(清須市)が輪・パラリンピックを初めて企画。この短大前に、障害者スポーツを初めて企画。この短大前を理解してもらう出前授業が三日、清須市阿原の新川高校であった。一年の女子生徒百三十九人が、現役選手らからパラリンピックの魅力を学んだ。

リハビリテーション教育が専門の愛知医療新聞社会事業団が講



伊藤選手(手前左)と生徒たちと楽しむ伊藤選手(手前左)＝清須市の新川高で

師を務めた。伊藤さんは生後間もは、韓国・仁川で負けた

なく右脚が不自由になり、幼いころから義足を使って生活。思春期には体育の授業から遠ざかることもあったが、大学生のときにバドミントンを始めたことを紹介した。「打ち込めることに出会い、人生が変わった。東京パラリンピックでは、韓国・仁川で負けた」と話していた。

(福本英司)